

令和7年度 指定管理者評価結果票

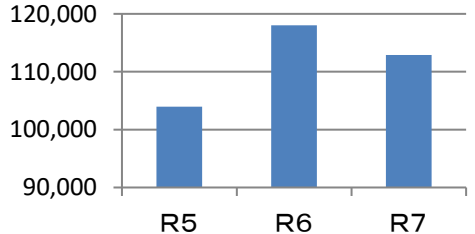
所 管 課	商工労働部 産業デジタル推進課
評価対象期間	R7.4.1 ～ R8.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	ソフトピアジャパンセンター
	所 在 地	大垣市加賀野4-1-7 他
指定管理者	名 称	伊藤忠アーバンコミュニティ・グループ
	構 成 員	伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社、株式会社コングレ、カワボウテキスチャート株式会社、グレートインフォメーションネットワーク株式会社、
	所 在 地	東京都中央区日本橋大伝馬町1-4
	指定期間	R7.4.1 ～ R12.3.31
指定管理業務の内容		・施設の使用の許可に関すること ・設備設置の許可に関すること ・施設利用者の遵守事項に関すること ・センター等の維持管理に関すること ・入居促進に関すること

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
R5	103,992
R6	118,005
R7	112,912



R5	R6	R7
103,992	118,005	112,912

3 令和7年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	729,728
利 用 料 金	234,522
指定管理料	359,532
そ の 他	135,674
支 出 計	721,593
人 件 費	111,804
施設管理費	585,734
そ の 他	24,055
差 引	8,135
納 付 金	1,479

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・施設の役割や目指す方向性が分かりづらいため、30周年を契機に施設コンセプトや価値を再整理し、分かりやすく発信すべきではないか。	・30周年記念事業や広報活動を通じた魅力発信に取り組むとともに、施設の役割や方向性について整理・検討を進めている。
・民間企業の力を活用し、施設の魅力度向上や誘客につながる取組を強化すべき。	・ソフトピアメッセやランチ交流会等を通じて企業間交流やビジネスマッチングの促進に取り組むとともに、30周年事業を契機とした施設活性化を進めている。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	4.3	・設備管理業務の自営化により、雇用維持や技術・ノウハウの蓄積が図られている。 ・老朽化が進む中、空調設備等の計画的な更新が進められている。 ・今後も県と連携しながら施設の長寿命化に努められたい。
設置目的の達成状況	3.8	・ソピアキャビンの利用実績は向上しており評価できる。 ・少人数利用にも対応できるよう、利用形態の多様化を検討されたい。 ・入居企業訪問件数等の減少については、企業ニーズの変化など理由も分かりやすく説明されたい。
公共性の確保の状況	4.5	・利用者及び入居企業が安心して利用できるよう、適切な施設運営が行われている。 ・バリアフリー対応や危機管理体制の強化など、利用者の安全・安心の確保に適切に取り組んでいる。 ・駐車場は引き続き課題であり、利用実態の把握や案内改善、空き状況の見える化について検討されたい。
経営状況	4.5	・黒字経営を維持し、利益還元を実現していることは評価できる。 ・引き続き効率的な施設運営と適正な経費執行に努められたい。
派生的効果	3.5	・企業間交流やビジネスマッチングによる事業機会創出は施設の大きな強みである。 ・30周年を契機に施設の強みや将来像を整理し、更なる施設活性化に取り組まれたい。

<評価基準>

5	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
S	・設備管理業務の自営化や計画的な施設管理により、効率かつ適切な管理運営が行われている。 ・企業間交流やビジネスマッチング、入居支援等に積極的に取り組み、施設の設置目的の達成に寄与している。 ・黒字経営を維持するとともに、30周年を契機とした施設の魅力向上や活性化に取り組み、十分な実績・成果を上げている。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する